

真珠のような音、歌ごころの妙
「ペライアとルプーの魔法のタッチをあわせもつピアニスト」—英・カーディアン紙

北山クラシック倶楽部 2025

Eric Lu

エリック・ルー
ピアノ・リサイタル

2026 3/1 (日) 14:00 開演
(13:30 開場)

Sunday, March 1st 2026 2:00 p.m.

京都コンサートホール
アンサンブルホールムラタ

シューマン：森の情景 op. 82

Schumann : Waldszenen, op. 82

ショパン：ポロネーズ 変ロ長調 op. 71-2

Chopin : Polonaise in B-flat major, op. 71 No. 2

ショパン：ポロネーズ第5番 嬰へ短調 op. 44

Chopin : Polonaise No. 5 in F-sharp minor, op. 44

シューベルト：ピアノ・ソナタ第21番 変ロ長調 D960

Schubert : Piano Sonata No. 21 in B-flat major, D960

Photo by Anna Skzlener

Ticket (全席指定)	一般	5,000円
	学生券*	2,500円
	(24歳以下)	
	会員*	4,500円

* 学生券でご入場の際は、学生証など年齢がわかる身分証明証をご持参ください。

* 京都コンサートホール・ロームシアター京都Club、京響友の会が対象。

サポーター・パートナー会員(最速先行予約や一部割引適用等の特典あり)の詳細はこちら ▶▶▶▶▶
<https://rohmtheatrekyoto.jp/supporter/>



チケットの
お取扱い 京都コンサートホール・チケットカウンター

075-711-3231 (10:00~17:00/第1・3月曜休館 ※休日の場合はその翌平日)

オンラインチケット購入(24時間いつでも購入可能!)

<https://kyotoconcerthall.org/ticket/>

ロームシアター京都・チケットカウンター

075-746-3201 (10:00~17:00/年中無休 ※臨時休館日等により変更の場合あり)

■ チケット発売日

会員先行：10月18日(土) 10:00~

一般発売：10月25日(土) 10:00~

※未就学児の入場はご遠慮ください。

※都合により内容等変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

※公演中止以外の出演者、曲目などの変更による払い戻しはいたしませんので、あらかじめご了承ください。

※ご購入後のキャンセルや座席の変更はお受けできません。

主催：合同会社ノヴェレッテ

共催：京都コンサートホール(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)

京都市

後援：村田機械株式会社 協力：株式会社ワーナーミュージック・ジャパン





Photo by Anna Skzlener

「本物だけがもつ、 純粋で詩情あふれる歌を聴いてほしい」

エリック・ルーは17歳でショパン国際ピアノコンクール第4位、20歳でリーズ国際コンクール優勝。その後もボストン響、シカゴ響と共演し、ウィグモアホールやワルシャワのフィルハーモニーでリサイタルを開くなど世界の檜舞台で活躍を広げている。

エリックが尊敬するピアニストとして名前をあげるのは内田光子とラドゥ・ルプーであり、そういえば彼が好んでとりあげるリサイタルのレパートリーはシューマン、シューベルトなどで、この2人の偉大なピアニストの傾向と似ている。そしてエリックの奏でる音楽のたたずまいは、純正で、ひとつとして意味のない音はない、心からの詩情あふれるものだ。今回のリサイタルでの、シューマンの「森の情景」はエリックが愛してやまない作品。神秘的で深い森の様子が彼の手にかかるとどのような音の情景になるのだろう。ショパンの2つのポロネーズでは、軽やかな光に満ちた変ロ長調と暗くて劇的な嬰へ短調を対比させる。シューベルトの最後のソナタは彼にとって、あらゆるピアノ曲のうちで最も重要で、一生をかけて取り組んでいきたい作品だという。作曲家が最晩年に書いたこの深遠な曲に挑むエリックの心からの叫び、心からの歌を、ぜひこのアンサンブルホールムラタの親密な空間で味わってほしい。

エリック・ルー (ピアノ) Eric Lu, Piano

2015年にショパン国際コンクールで第4位入賞、2018年には20歳でリーズ国際ピアノコンクールに優勝。翌年ワーナー・クラシックスと専属契約を結んだ。2021年にはエイヴリー・フィッシャー・キャリア・グラントを受賞。以来ムーティやV. ペトレンコ、ガードナー、エルダー、ダウスゴー、グラジニーテ=ティーラらの指揮のもと、シカゴ響、ボストン響、ロンドン響、ハレ管、ロイヤル・ストックホルム・フィル、フィンランド放送響、読売日響、東響など国内外の一流オーケストラと共演。またBBCプロムスへの出演、アムステルダム・コンセルトヘボウやハンブルクのエルブ・フィルハーモニー、ロンドンのウィグモアホール、ニューヨークの92ndストリートY、ソウルのアーツセンターなど、世界の主要ホールでリサイタルを開いて国際的な活動を続けている。ワーナーからリリースされた『ショパン：24の前奏曲 ほか』（2020年）はインターナショナル・ピアノ誌で「本当に魔法のようだ」と絶賛。シューベルトのソナタ集（2022）もBBCミュージック・マガジンのインストゥルメンタル・チョイスを受賞し、「今日のシューベルトティアンにおけるルーの地位は確立された」と評された。最新録音はシューベルトの即興曲集。1997年米国マサチューセッツ州生まれ。2013年にカーティス音楽院へ入学し、ロバート・マクドナルド、ジョナサン・ビスの各氏に師事。またダン・タイ・ソン、内田光子やイモーゲン・クーパーの指導も受けている。

繊細で優美な音色が紡ぐ、エリック・ルーの心揺さぶる演奏



9月24日SACDハイブリッド国内盤2タイトル同時発売！



ショパン：
24の前奏曲 他
(SACDハイブリッド)

WPCS-28508 3,300円(税込)

幼い頃からインスピレーションを受けて来た
ショパンの前奏曲を詩的な感性で綴る。



シューベルト：
ピアノ・ソナタ 第14番・第20番 他
(SACDハイブリッド)

WPCS-28509 3,300円(税込)

エリック・ルーが最も心を動かされる作曲家
シューベルト。音楽に真摯な姿勢で向き合い、
感情の機微を繊細に描き出した演奏。

収録曲

ショパン：24の前奏曲 作品28

ブラームス：3つの間奏曲より 第1番 作品117-1

シューマン：主題と変奏《幽霊変奏曲》WoO 24

※2019年録音

収録曲

シューベルト：

ピアノ・ソナタ 第20番 イ長調 D959、アレグレット ハ短調 D915、

ピアノ・ソナタ 第14番 イ短調 D784

※2022年録音

好評配信中



シューベルト：
4つの即興曲
Op.90 D899

エリック・ルーが「ピアノ
音楽の偉大な宝石」と
語る美しい作品

※配信限定

詳しい作品情報
はこちら

